




名古屋市役所本庁舎ロケ地MAP

3・4・5階部分は裏面へ

1 2階 中央廊下①
映画「さよならドビュッシー」
(2013/東京テアトル)

監督:利重 剛
出演:橋本愛 ほか

主人公の通う『高校』として、中央廊下で撮影が行われました。利重監督が、「中学生日記」に役者として出演していた際に市役所を訪れており、監督自らロケ地として推薦されました。



2 1階 北側・東側廊下
映画「SP 革命編」(2011/東宝)

監督:波多野貴文
出演:岡田准一・堤真一
真木よう子 ほか


『国会議事堂』の設定で撮影。1階の北側・東側廊下でテロリストが占拠していく様子と、SPメンバーが反撃していくシーンの一部が撮影されました。赤絨毯が長い廊下に敷かれ、国会議事堂のパンフレットも美術として用意されていました。



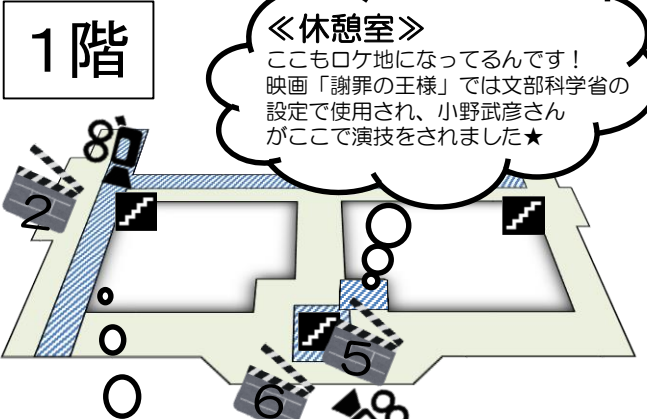
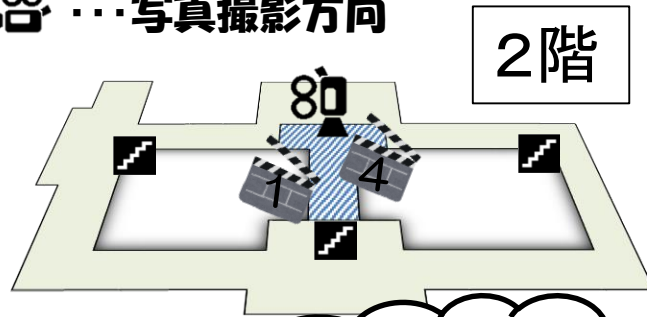
3 地階 西側廊下
映画「終の信託」(2012/東宝)

監督:周防正行
出演:草刈民代 ほか

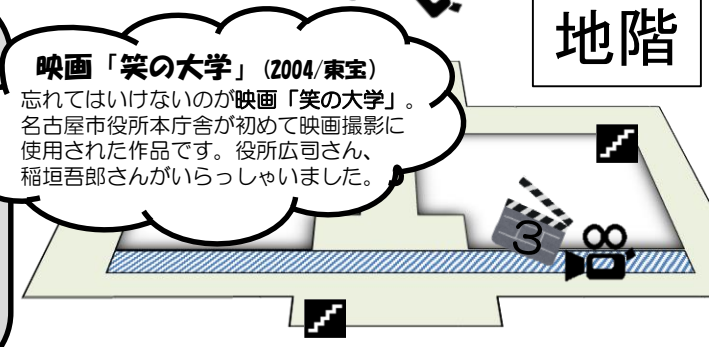
『地方検察庁』という設定で撮影が行われました。この地下の廊下は映画のメインビジュアルとしてポスターに使用されており、大変思い出深い作品となりました。また、待合室の場面を「休憩室」で撮影。降雨の演出も行いました。



...写真撮影方向



《休憩室》
ここもロケ地になってるんです！
映画「謝罪の王様」では文部科学省の設定で使用され、小野武彦さんがここで演技をされました★




映画「笑の大学」(2004/東宝)
忘れてはいけないのが映画「笑の大学」。名古屋市役所本庁舎が初めて映画撮影に使用された作品です。役所広司さん、稲垣吾郎さんがいらっしゃいました。

4 2階 中央廊下②
映画「ステキな金縛り」(2011/東宝)

監督:三谷幸喜
出演:中井貴一・深津絵里


『笑の大学』の撮影ですすでに市役所をご存じだった監督。どの場所にも気に入っていただいたようで、東宝のスタジオにも雰囲気再現したセットを組み、美術担当者はタイルなどの材質の確認に、4回も市役所を訪れていました。



5 1階 正面階段
ドラマ「運命の人」(2012/TBS)

出演:本木雅弘・真木よう子 ほか

『外務省』という設定で撮影。昭和46年頃の時代背景があり、当時の外務省庁舎はもう少し近代的でしたが、もう一つの舞台となる『新聞社』の建物との対比を象徴的にするため、市役所での撮影が決まりました。



6 1階 正面玄関
映画「アウトレイジビヨンド」
(2012/ワーナーブラザーズ)

監督:北野 武
出演:加瀬 亮 ほか

『国土交通省』という設定で撮影。黒塗りの車が乗り入れるシーンなども行われました。他にも加瀬亮さん扮する石原が官僚に脅しをかけるシーンも市役所で撮影されました。

